

東和便り



第19号 ケータイ・スマホ号
2014.9.22 東和中学校

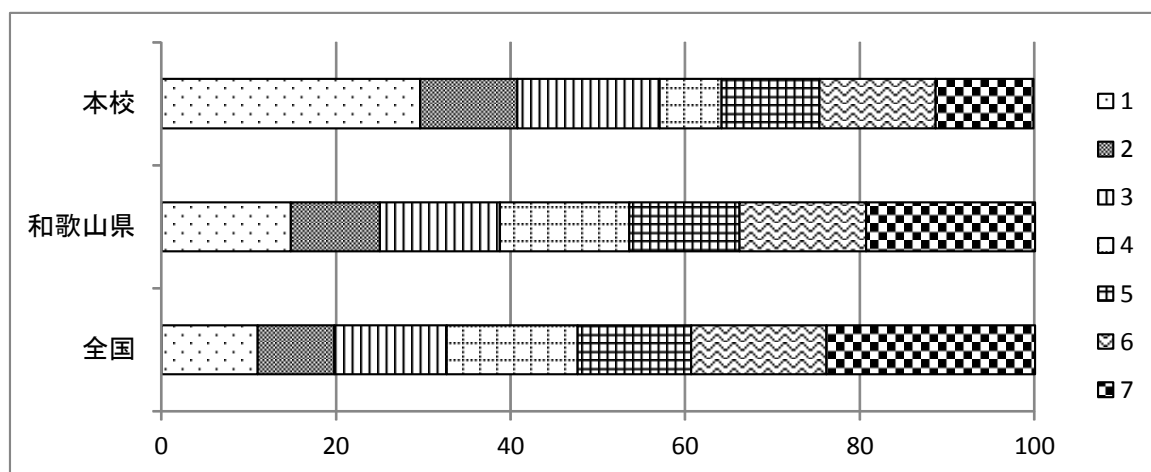
大きな課題!! ケータイ・スマホ「1日2時間以上」 全国との差 24.4%

平成26年度全国学力・学習状況調査の結果より本校の大きな課題が明らかになりました!

それは、携帯電話やスマートフォンの使用時間です。

(13)	普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか							
選択肢	1	2	3	4	5	6	7	
本校	29.6	11.2	16.3	7.1	11.2	13.3	10.2	
和歌山県	14.8	10.2	13.8	14.8	12.6	14.5	19.1	
全国	11.0	8.8	12.9	15.0	13.0	15.5	23.5	

- 1 4時間以上、2 3時間以上 4時間より少ない、3 2時間以上 3時間より少ない、
4 1時間以上 2時間より少ない、5 30分以上 1時間より少ない、6 30分より少ない、
7 携帯電話やスマートフォンをもっていない



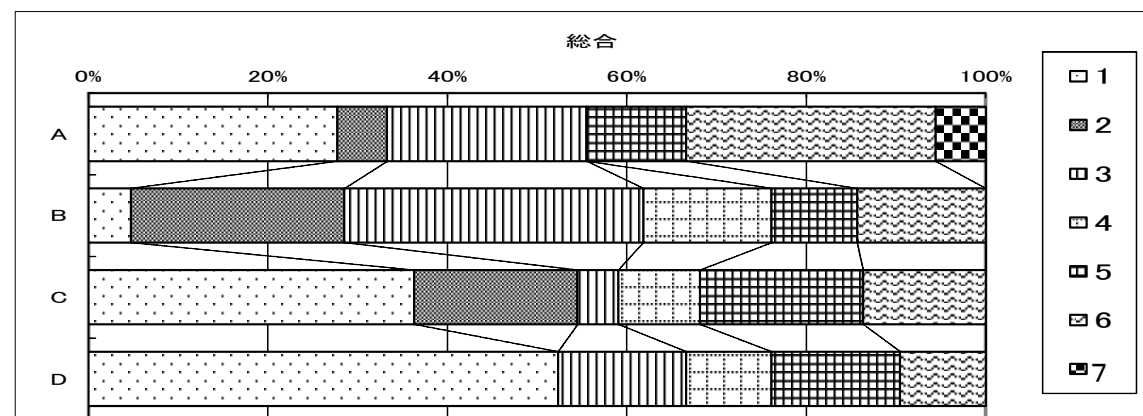
「1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか」という質問に対して、「2時間以上」と回答した生徒が57.11%であり、全国平均の32.7%と比較すると、24.4%も多いことがわかりました。

携帯電話やスマートフォンの使用時間が長い生徒は、学力テストの正答率が低い傾向にあります。右のグラフは、携帯電話やスマートフォンの使用時間と学力テスト正答率との相関関係を表しています。

※朝の読書活動をみんなで充実させましょう!

※A～D層について

各層は、学力テストの正答数の大きい順に整列し、人数比率により25%刻みで4つの層分けを行い、上位から1番目をA層、2番目をB層、3番目をC層、4番目をD層としています。



- 1 4時間以上、2 3時間以上 4時間より少ない、3 2時間以上 3時間より少ない、
4 1時間以上 2時間より少ない、5 30分以上 1時間より少ない、6 30分より少ない、
7 携帯電話やスマートフォンをもっていない

正答数の大きいA層(上位25%)に、7「携帯電話やスマートフォンを持っていない」生徒が集中しています。正答数の小さいD層(下位25%)の半数が、1「4時間以上使用」している人です。

子どもだから危ない! LINEの使用について



「青少年のLINE利用問題の原点」をテーマに合同会社ロジカルキット代表の下田太一氏は、LINE利用に必要な能力について、以下のように述べています。

高度で複雑なコミュニケーションを可能にするLINEの利用には、社会常識や対人関係スキル、自尊心、集団生活スキル、忍耐力など、精神的な成熟が不可欠です。なぜなら、LINEの問題点の根底には、「嫌われたくない」「自分に自信がない」といった精神的未熟さがあるからです。逆に言えば、常識的に対人関係を考えることができ、自信を持って前向きに人と付き合える能力を身につけた人であれば、年齢に関係なくLINE利用はより安全に行えると言えるのです。…これらの能力はLINEの利用によって身につくものではありません。日々の実生活で体験する小さなトラブルや成功から社会や人間関係を学ぶことが、やがてLINEを使える人へと成長させるのです。LINEは高度なコミュニケーションスキルを有する人が使うものです。(公益財団法人 日本教育会 「日本教育9月号」より)



※朝の読書活動をみんなで充実させましょう!